

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第181号	氏名	北里 周
学位審査委員	主査 関根 一郎 副査 上平 憲 副査 永安 武		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 胆管慢性炎症による胆道癌発癌の基盤研究の一環として、正常胆嚢上皮分離細胞に炎症性サイトカイン刺激を加え、iNOS 発現、NO 産生、DNA 障害などを検討し、炎症による胆道発癌の機序を探ろうとした研究目的は明確である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 コラーゲンゲル培養法によるハムスター正常胆嚢上皮細胞の分離とコラーゲンコートディッシュの作成、Cytokine mixture の作成、HPLC 法による NO の濃度の測定、RT-PCR 法による iNOS mRNA の発現の検討、Comet Assay 法による NO 惹起 DNA 障害の評価 など研究方法は妥当かつ的確であった。</p> <p>2. 結果・考察の評価 サイトカイン刺激により、正常胆嚢上皮細胞の iNOS 発現と NO 産生は増加し、NO 産生は iNOS 阻害剤で抑制された。またサイトカイン刺激で DNA 障害は高度となり iNOS 阻害剤により抑制された。これらの結果は、炎症を基盤とした胆道発癌過程で iNOS 発現、NO 産生が関与している可能性を示唆するもので、胆道発癌機序解明に大きく寄与するものと評価できる。 以上のように本論文は胆道癌発癌の研究の進展に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			